

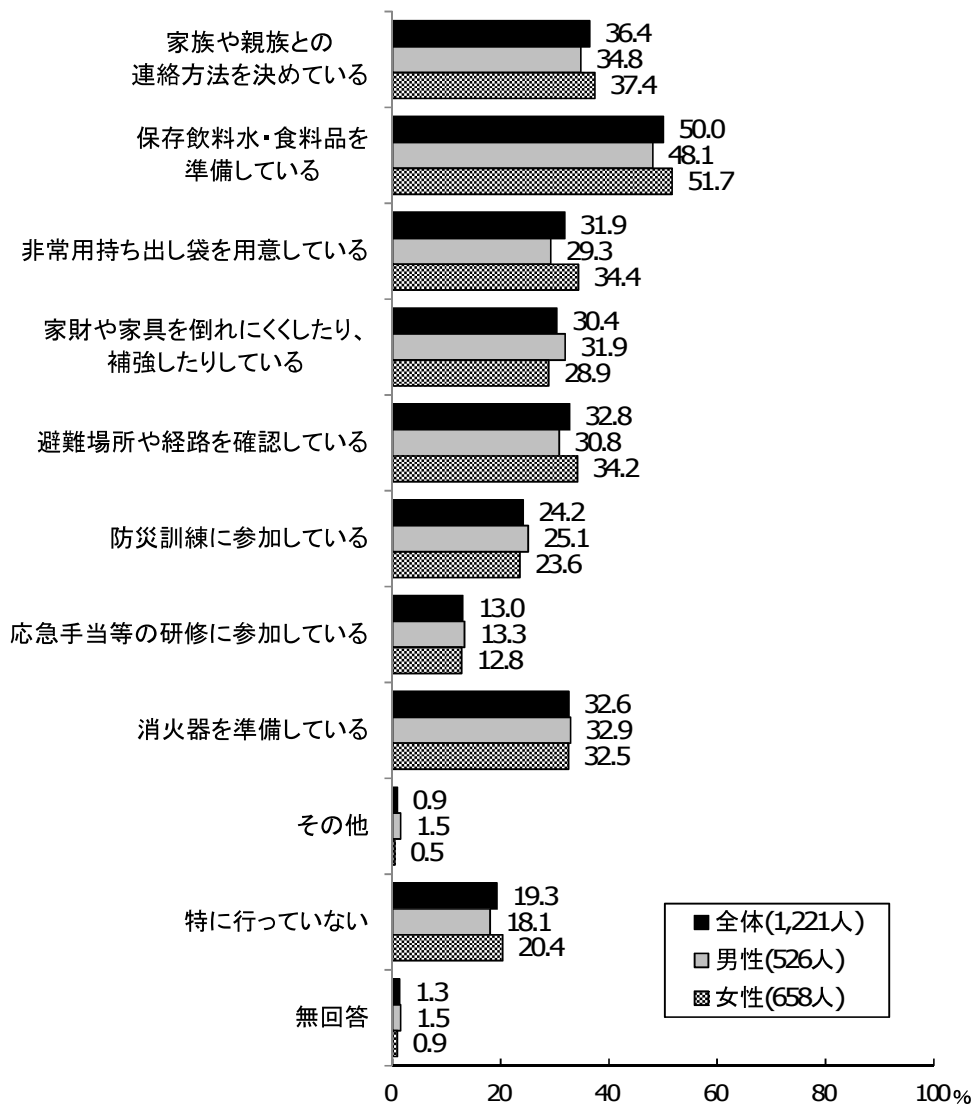
## 4 防災・防犯・交通について

### 4-1 災害に備えて行っていること

- ◆「保存飲料水・食料品を準備している」50.0%、「家族や親族との連絡方法を決めている」36.4%◆

問 11 あなたは、日頃から災害に備え、どのようなことを行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

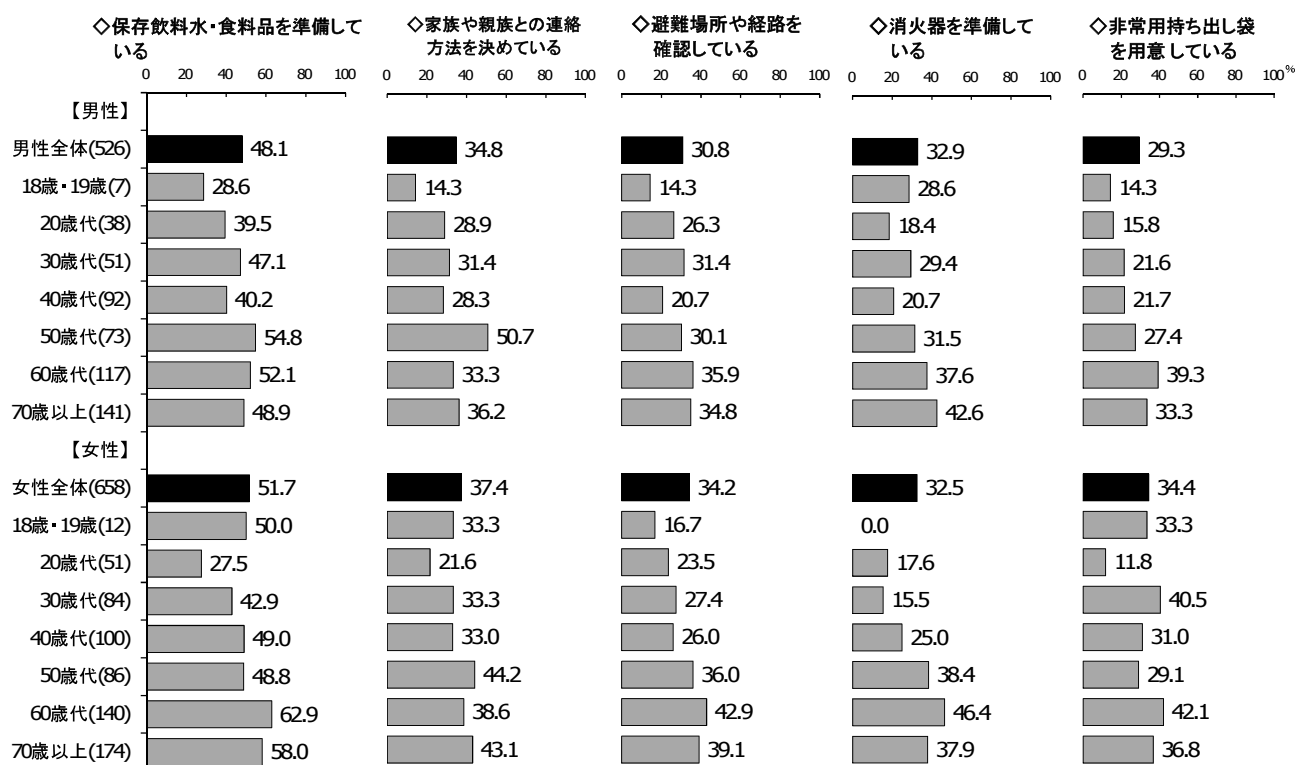
災害に備えて行っていること（全体・性別）



全体では「保存飲料水・食料品を準備している」が50.0%で最も高く、次いで「家族や親族との連絡方法を決めている」(36.4%)、「避難場所や経路を確認している」(32.8%)、「消火器を準備している」(32.6%)、「非常用持ち出し袋を用意している」(31.9%)と続いています。

性別でみると「非常用持ち出し袋を用意している」で女性(34.4%)が男性(29.3%)を5.1ポイント上回っています。

## 災害に備えて行っていること（上位5位 性・年代別）



性・年代別でみると「保存飲料水・食料品を準備している」は女性の18歳・19歳、60歳代、70歳以上、男性の50歳代、60歳代で5割以上となっています。

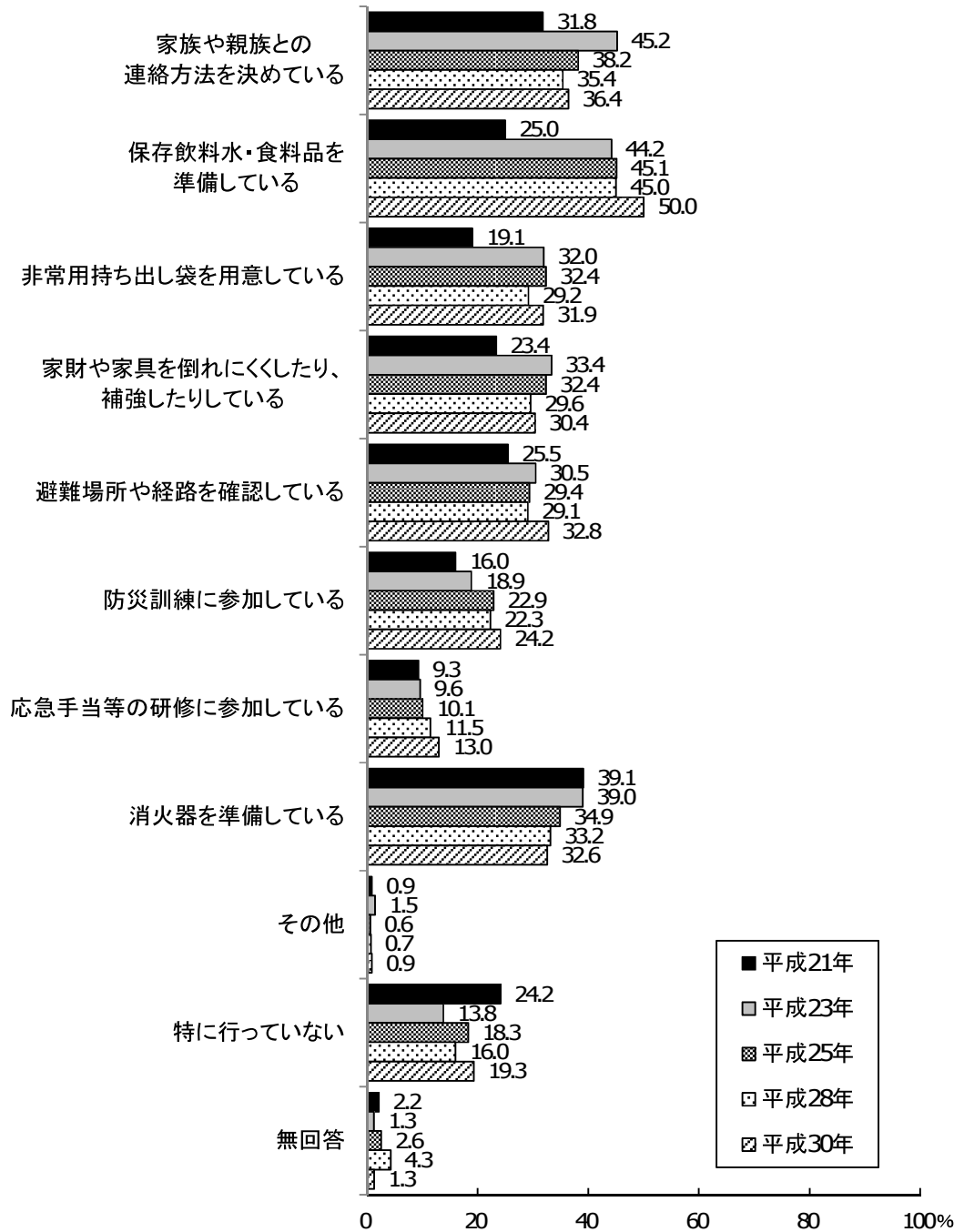
「家族や親族との連絡方法を決めている」は男性・女性とも50歳代が高く、男性50.7%、女性44.2%となっています。

「避難場所や経路を確認している」は女性60歳代が42.9%と、やや高くなっています。

「消火器を準備している」は女性では18歳・19歳が0%、20歳代、30歳代ともに1割台と低く、男性では20歳代が1割台と低くなっています。

「非常用持ち出し袋を用意している」は女性では60歳代が42.1%と最も高く、次いで女性30歳代が40.5%と高くなっています。

災害に備えて行っていること（経年比較）



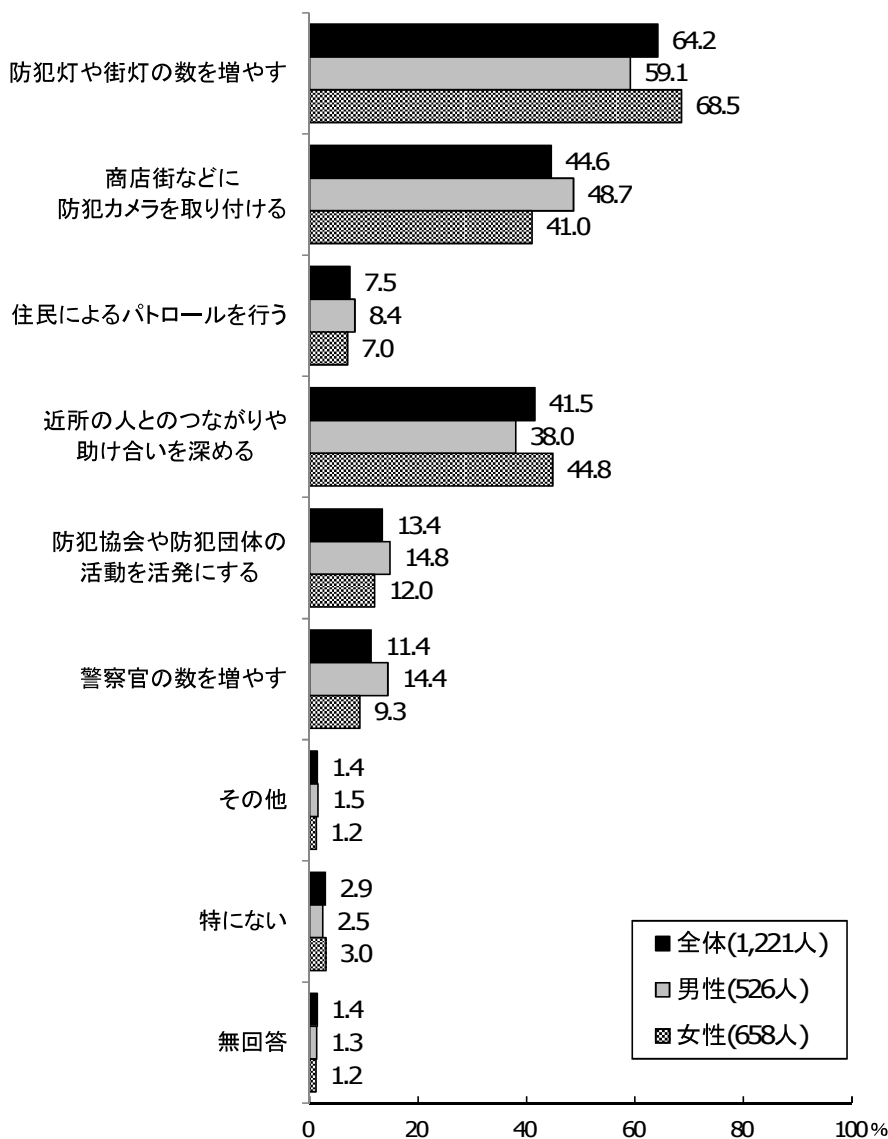
平成 28 年度調査と比較すると「保存飲料水・食料品を準備している」が 5.0 ポイント増加しています。また「避難場所や経路を確認している」も 3.7 ポイント増えています。他もおおむね前回より増加していますが、「消火器を準備している」は 0.6 ポイント減少しています。

## 4-2 防犯のために必要なこと

◆「防犯灯や街灯の数を増やす」64.2%、「商店街などに防犯カメラを取り付ける」44.6%◆

問 12 あなたは、犯罪を防止するために、地域や行政としてどのようなことが必要だと思いますか。2つまで選び、番号を○で囲んでください。

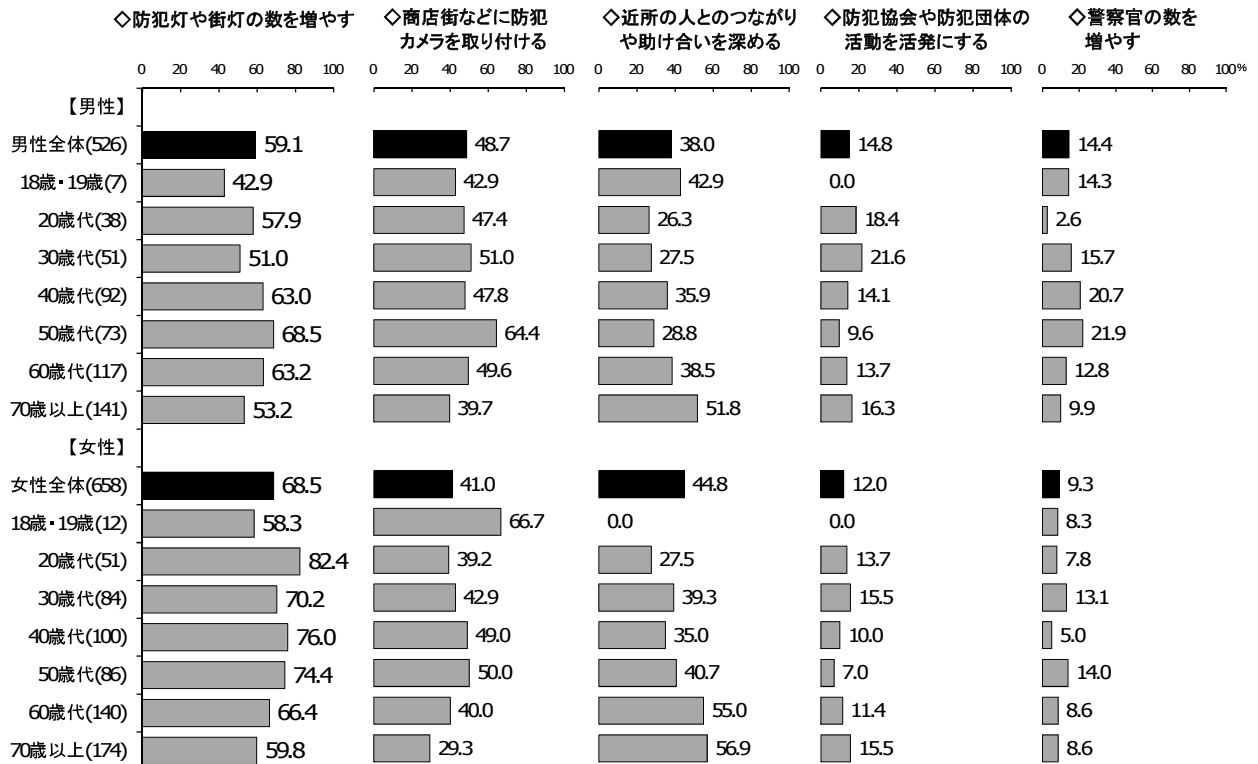
防犯のために必要なこと（全体・性別）



全体では「防犯灯や街灯の数を増やす」が64.2%で最も高く、次いで「商店街などに防犯カメラを取り付ける」(44.6%)、「近所の人とのつながりや助け合いを深める」(41.5%)、「防犯協会や防犯団体の活動を活発にする」(13.4%)、「警察官の数を増やす」(11.4%)が続いています。

性別でみると「防犯灯や街灯の数を増やす」は女性(68.5%)が男性(59.1%)を9.4ポイント上回っています。

## 防犯のために必要なこと（上位5項目 性・年代別）



性・年代別でみると「防犯灯や街灯の数を増やす」は男性の40歳代、50歳代、60歳代で6割を超え、女性の20歳代、30歳代、40歳代、50歳代では7割を超えています。特に、女性の20歳代は82.4%と最も高くなっています。

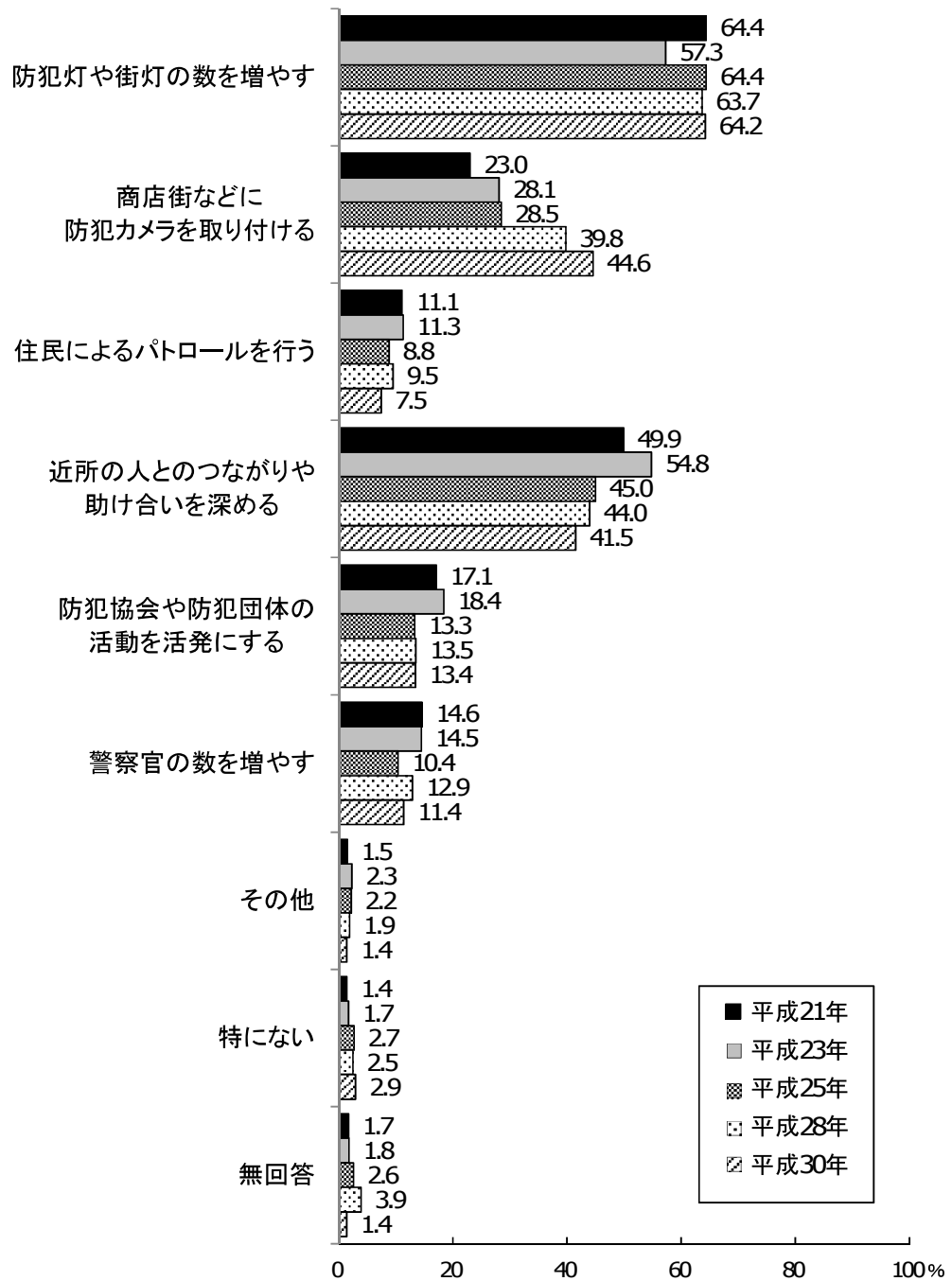
「商店街などに防犯カメラを取り付ける」は女性の18歳・19歳で66.7%と最も高くなっています。また、男性の50歳代でも64.4%と高くなっています。女性の20歳代と男性・女性の70歳以上を除くと、全ての年代で4割以上となっています。

「近所の人とのつながりや助け合いを深める」は男性の70歳以上、女性の60歳代、70歳以上で5割台と高くなっています。

「防犯協会や防犯団体の活動を活発にする」は男性の20歳代(18.4%)、30歳代(21.6%)で高くなっています。

「警察官の数を増やす」は男性の40歳代(20.7%)、50歳代(21.9%)でやや高くなっています。

防犯のために必要なこと（経年比較）



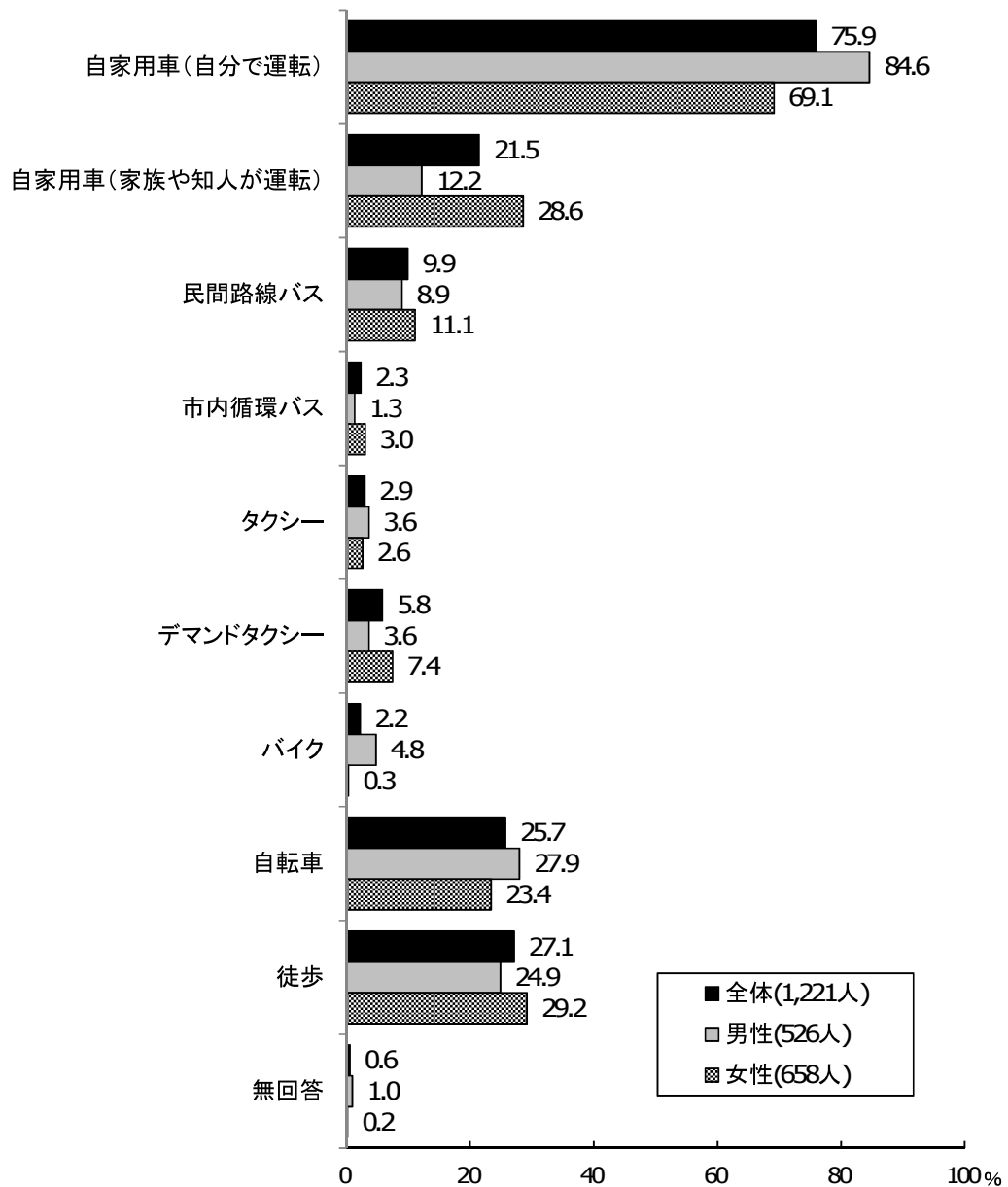
平成 28 年度調査と比較すると「商店街などに防犯カメラを取り付ける」は 4.8 ポイント増加しています。「近所の人とのつながりや助け合いを深める」は 2.5 ポイント減少し、平成 23 年度調査以降、減少傾向となっています。

### 4-3 主に利用している交通手段

◆「自家用車（自分で運転）」75.9%、「徒歩」27.1%、「自転車」25.7%◆

問13 あなたが、日常生活の中で、主に利用している交通手段は何ですか。2つまで選び、番号を○で囲んでください。

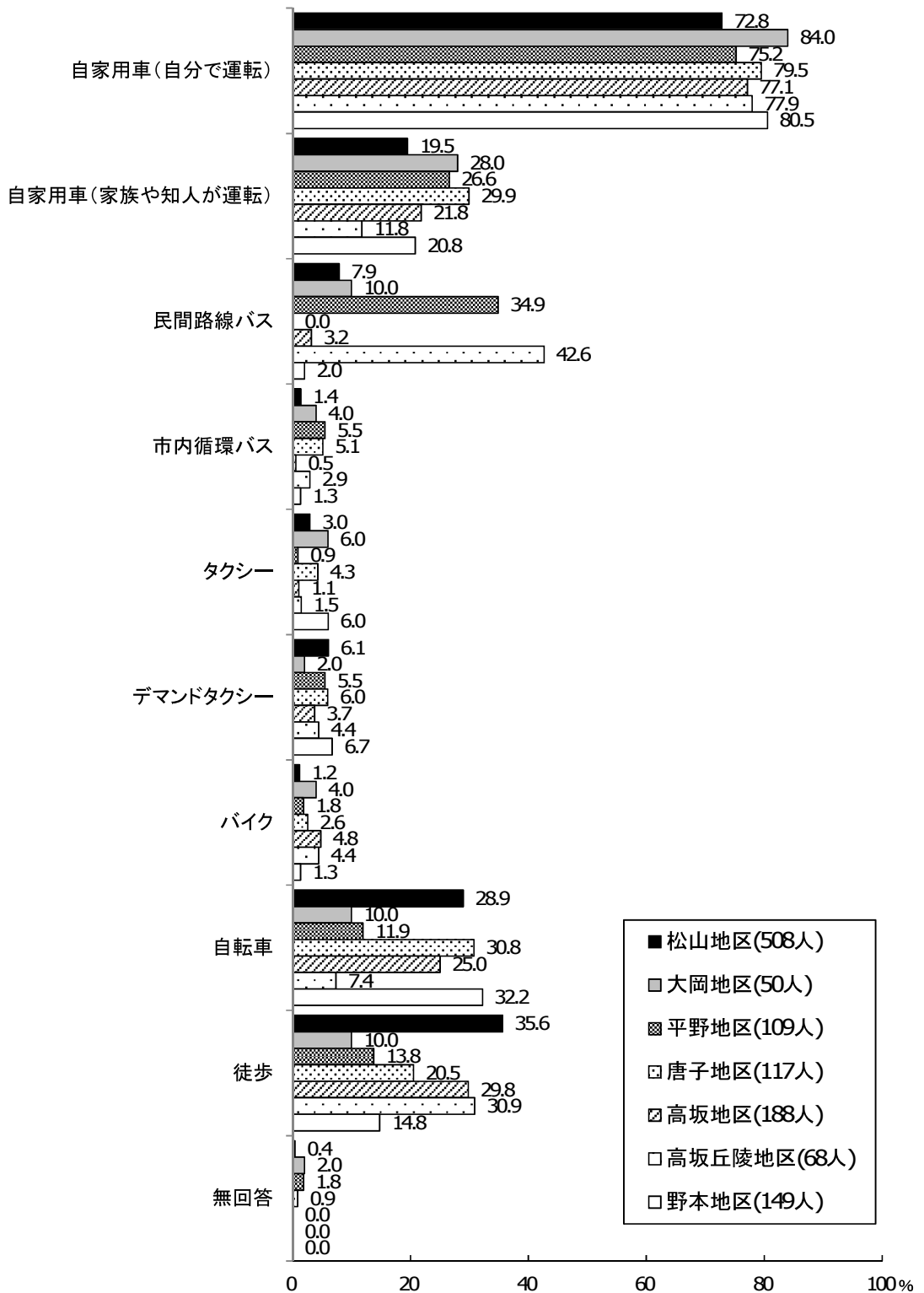
主に利用している交通手段（全体・性別）



全体では「自家用車（自分で運転）」が75.9%で最も高く、次いで「徒歩」（27.1%）、「自転車」（25.7%）、「自家用車（家族や知人が運転）」（21.5%）、「民間路線バス」（9.9%）と続いています。

性別で見ると「自家用車（自分で運転）」は男性（84.6%）が女性（69.1%）を15.5ポイント上回っています。また、「自家用車（家族や知人が運転）」は女性（28.6%）が男性（12.2%）を16.4ポイント上回っています。

主に利用している交通手段(地区別)



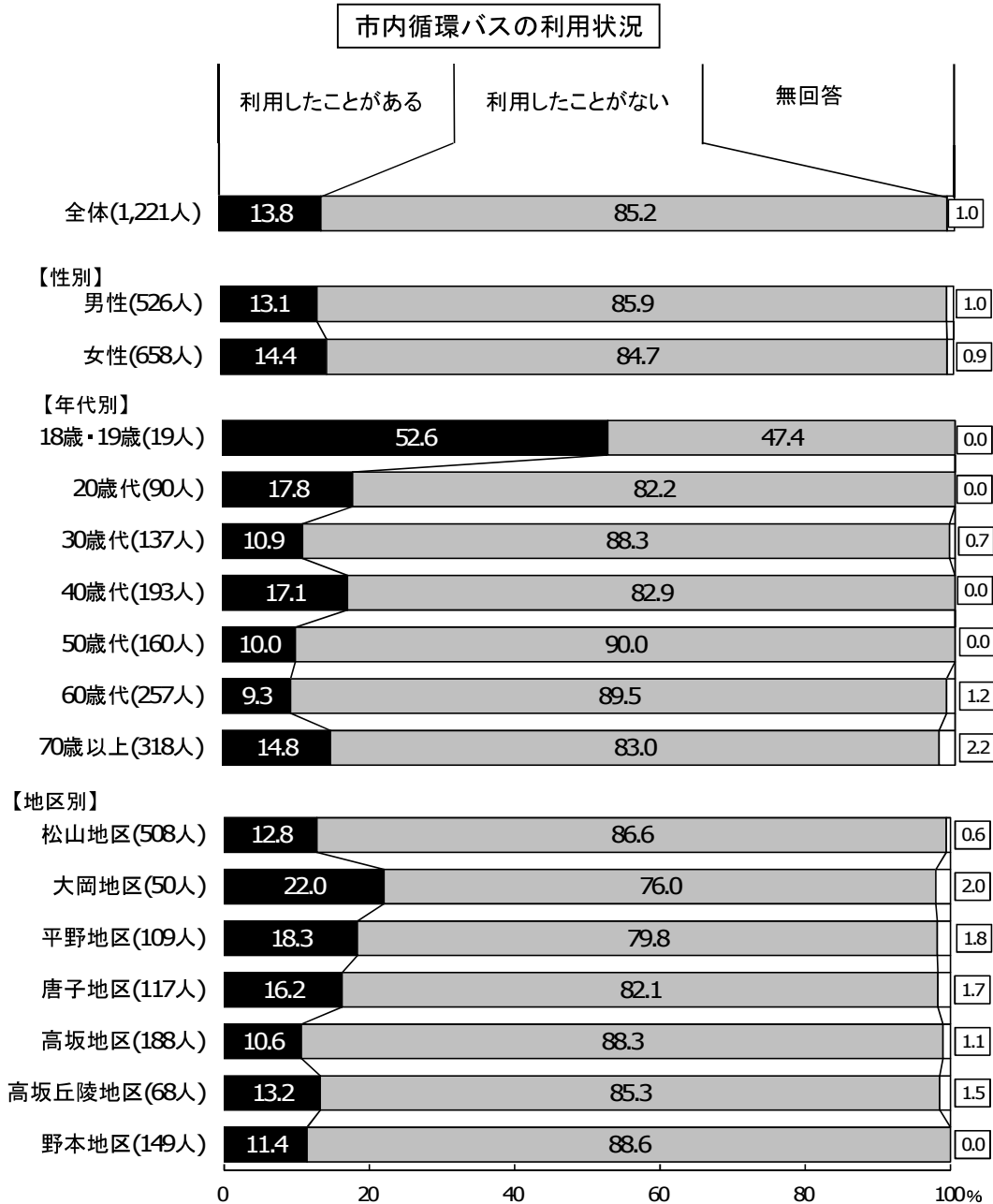
地区別で見ると、全ての地区で「自家用車(自分で運転)」が最も高くなっています。「徒歩」は、松山地区で35.6%、高坂丘陵地区で30.9%と高くなっています。「自転車」は野本地区、唐子地区で3割台となっています。「民間路線バス」は高坂丘陵地区で42.6%、平野地区で34.9%と高くなっています。



#### 4-4 市内循環バスの利用状況

◆「利用したことがある」13.8%◆

問 14 あなたは、市内循環バスを過去1年以内に利用したことがありますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体で見ると「利用したことがある」が13.8%、「利用したことがない」が85.2%と、「利用したことがない」が大半を占めています。

性別で見ると「利用したことがある」は女性(14.4%)が男性(13.1%)を1.3ポイント上回っています。

年代別で見ると「利用したことがある」は18歳・19歳が52.6%、次いで20歳代が17.8%と高くなっています。

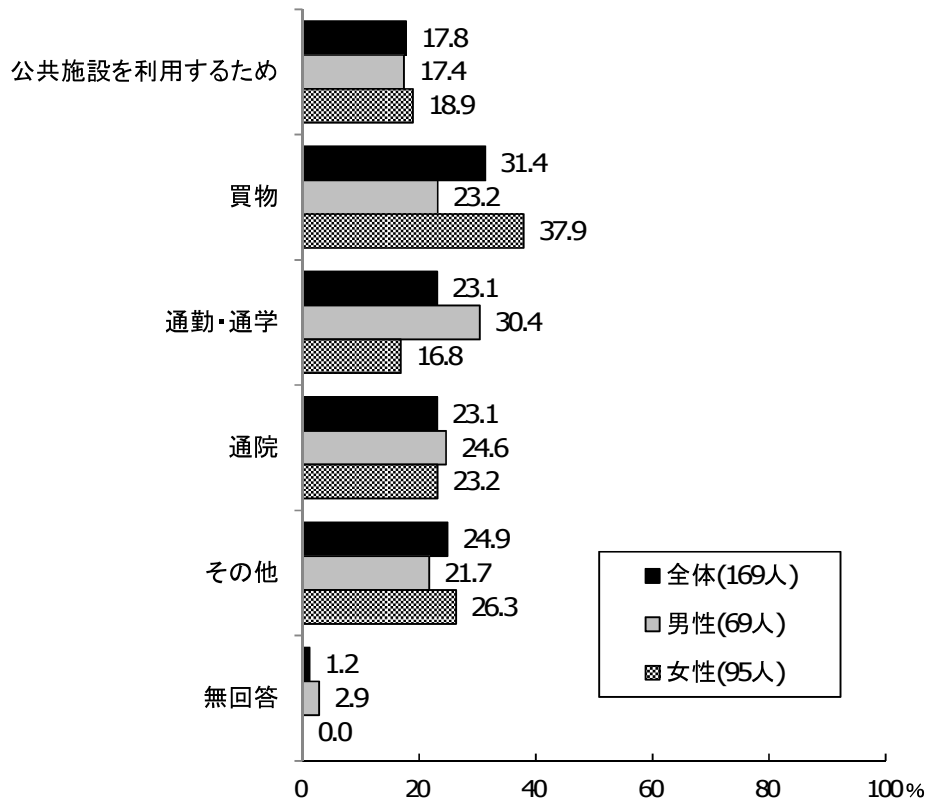
地区別では「利用したことがある」は大岡地区で22.0%、平野地区で18.3%と高くなっています。

#### 4-5 市内循環バスを利用した理由

◆「買物」31.4%◆

(問14で「利用したことがある」とお答えの方におたずねします)  
 問14-1 どのようなことで利用しましたか。あてはまるものをすべて選び、番号を○  
 で囲んでください。

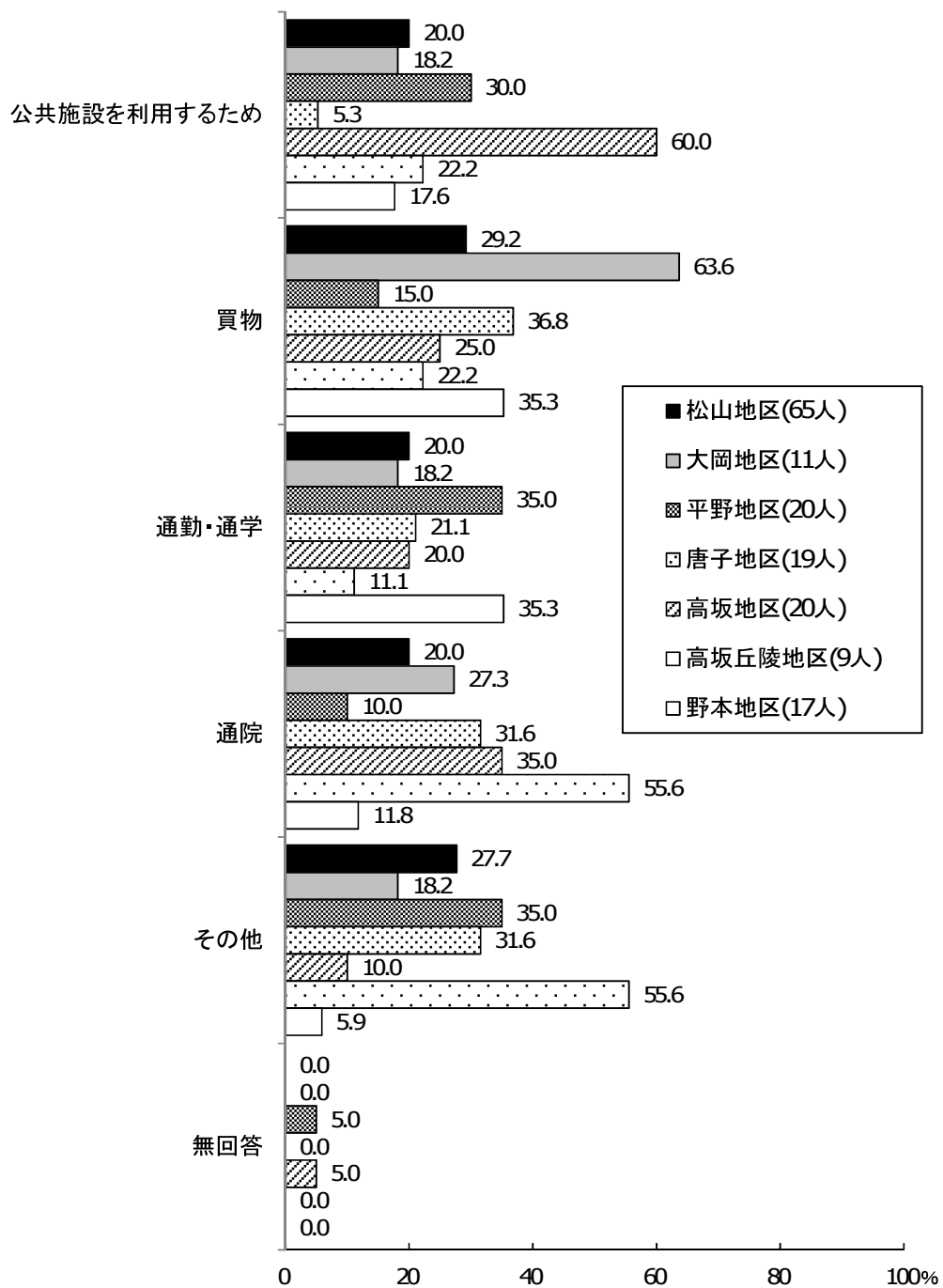
市内循環バスを利用した理由(全体・性別)



全体では「買物」が31.4%と最も高く、次いで「通勤・通学」「通院」がともに23.1%となっています。

性別でみると「買物」で女性(37.9%)が男性(23.2%)を14.7ポイント上回っています。また「通勤・通学」では男性(30.4%)が女性(16.8%)を13.6ポイント上回っています。

市内循環バスを利用した理由（地区別）



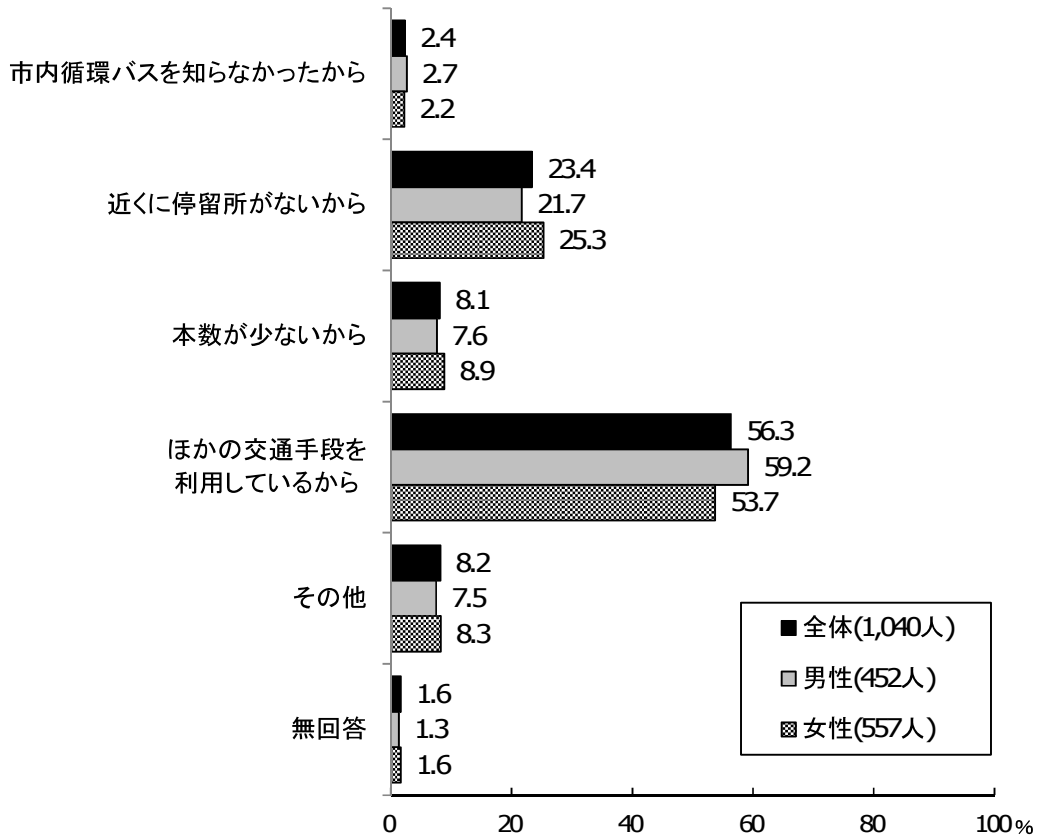
地区別でみると「買物」は大岡地区が63.6%とかなり高く、次いで唐子地区が36.8%となっています。「公共施設を利用するため」は高坂地区が60.0%と高くなっています。「通勤・通学」は野本地区が35.3%、平野地区が35.0%、「通院」は高坂丘陵地区が55.6%と高くなっています。

#### 4-6 市内循環バスを利用したことがない理由

◆「ほかの交通手段を利用しているから」56.3%◆

(問14で「利用したことがない」とお答えの方におたずねします)  
 問14-2 利用したことがないのはなぜですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

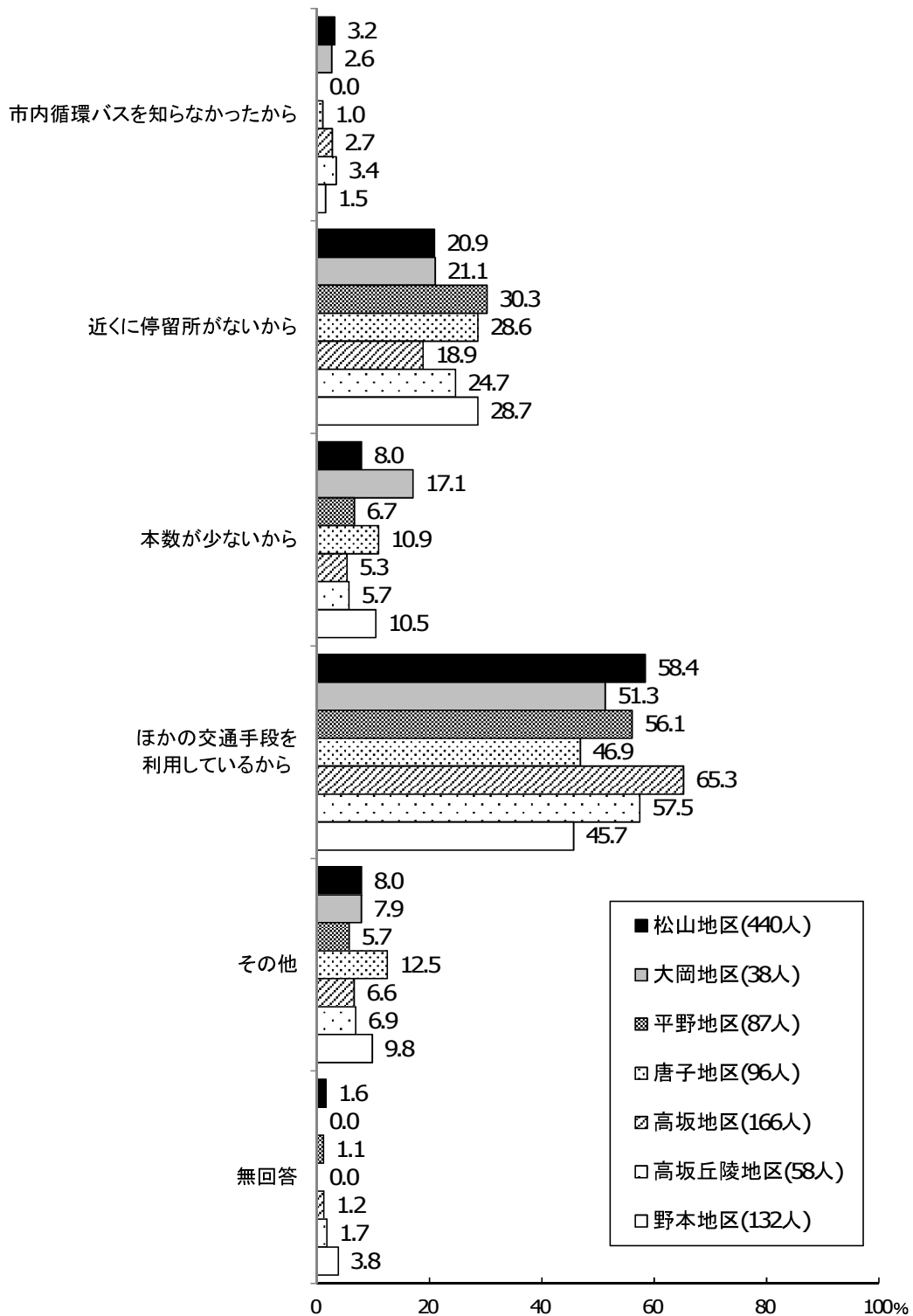
市内循環バスを利用したことがない理由(全体・性別)



全体では「ほかの交通手段を利用しているから」が56.3%と最も高く、次いで「近くに停留所がないから」が23.4%となっています。

性別で見ると「ほかの交通手段を利用しているから」では男性(59.2%)が女性(53.7%)を5.5ポイント上回っています。また「近くに停留所がないから」で女性(25.3%)が男性(21.7%)を3.6ポイント上回っています。

市内循環バスを利用したことがない理由（地区別）



地区別で見ると、全ての地区で「ほかの交通手段を利用しているから」が最も高くなっています。

「近くに停留所がないから」は平野地区で30.3%、野本地区で28.7%、唐子地区で28.6%とやや高くなっています。

#### 4-7 デマンドタクシーの利用状況

◆「利用したことがある」13.0%◆

問15 あなたは、デマンドタクシーを利用したことがありますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体で見ると「利用したことがある」が13.0%、「利用したことがない」が86.3%で、「利用したことがない」が大半を占めています。

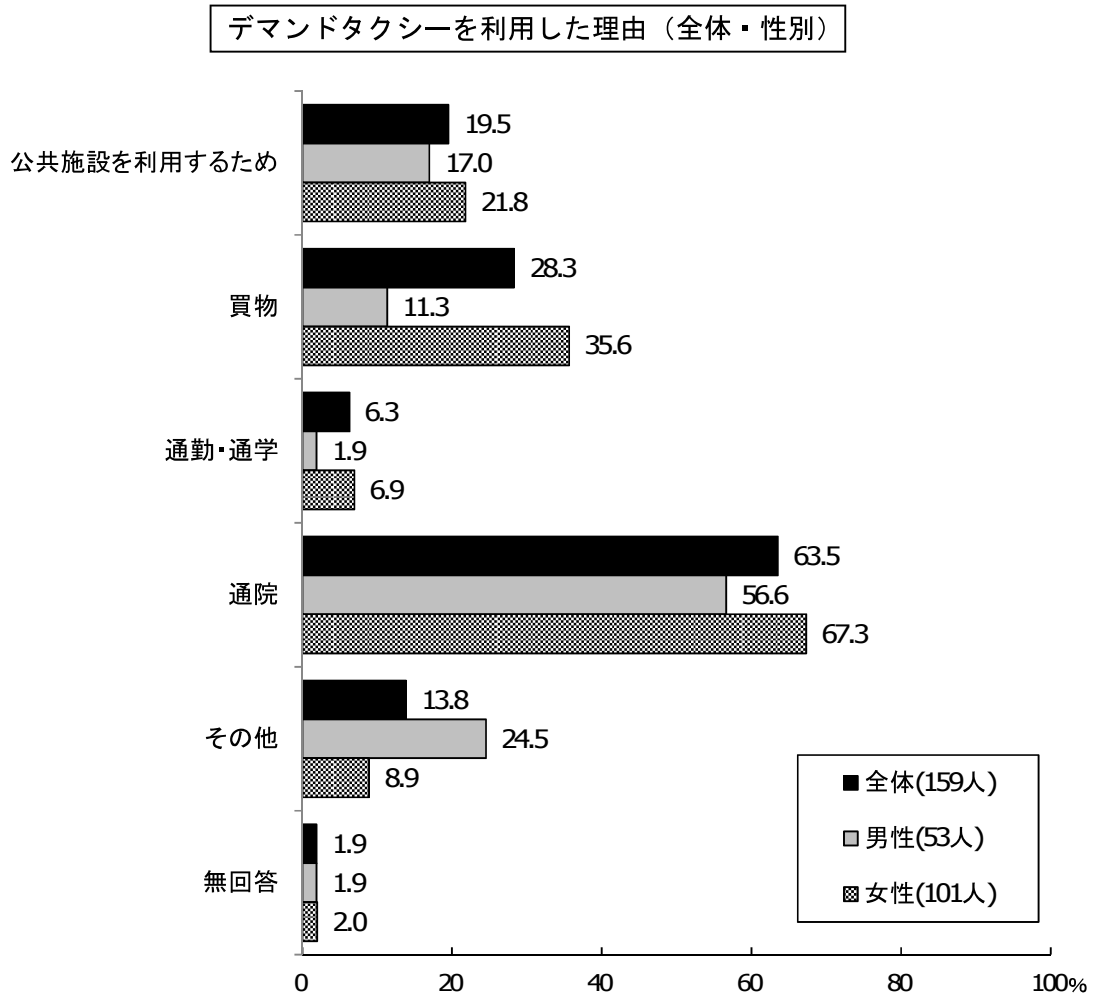
年代別で見ると「利用したことがある」は70歳以上が28.0%と最も高くなっています。

地区別で見ると「利用したことがある」は松山地区で15.2%と最も高くなっています。

#### 4-8 デマンドタクシーを利用した理由

◆「通院」63.5%◆

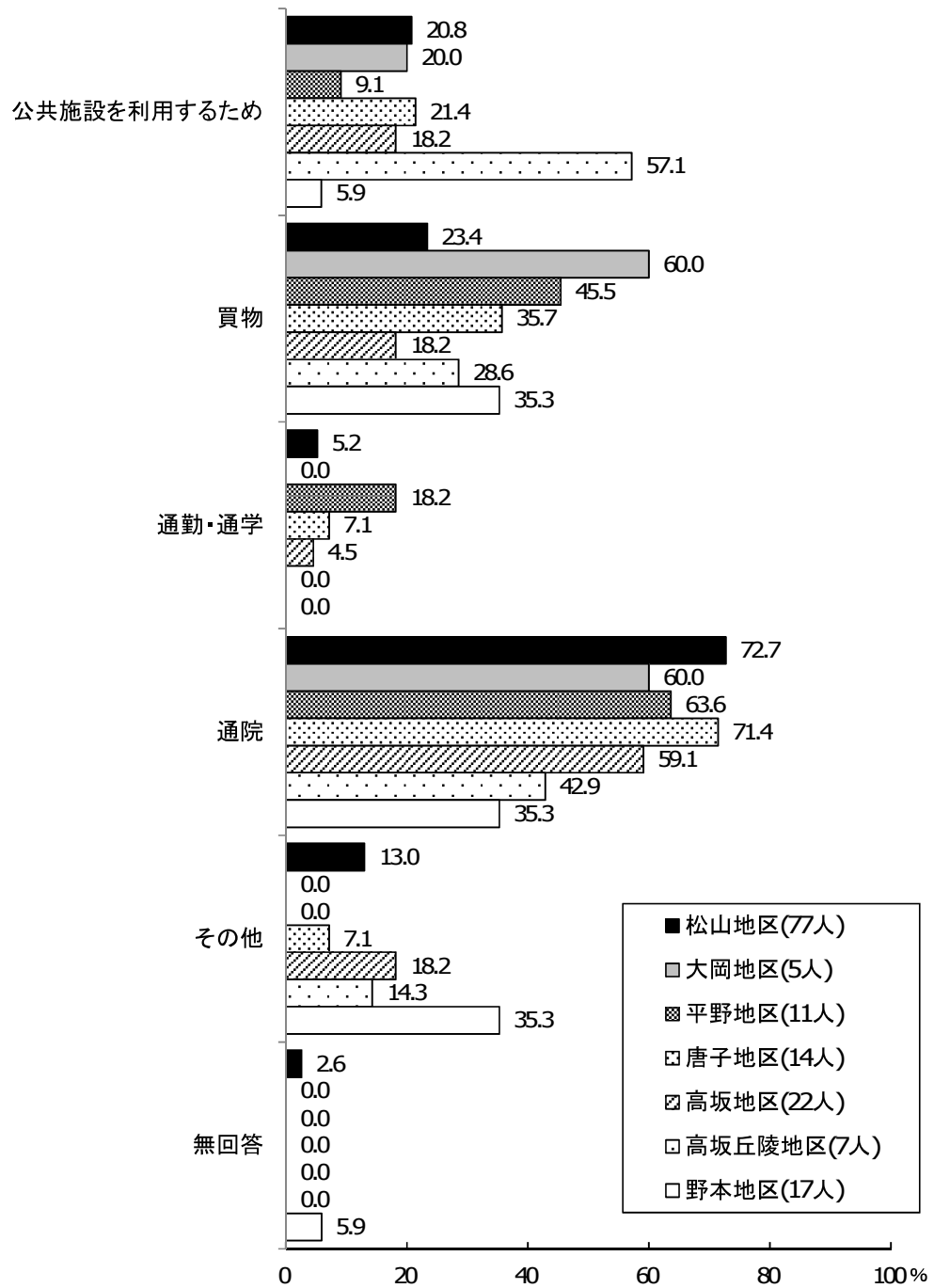
(問 15で「利用したことがある」とお答えの方におたずねします)  
 問 15-1 どのようなことで利用しましたか。あてはまるものをすべて選び、番号を○  
 で囲んでください。



全体では「通院」が63.5%と最も高く、次いで「買物」(28.3%)、「公共施設を利用するため」(19.5%)となっています。

性別で見ると「通院」で女性(67.3%)が男性(56.6%)を10.7ポイント上回っています。また「買物」でも女性(35.6%)が男性(11.3%)を24.3ポイント上回っています。

デマンドタクシーを利用した理由（地区別）



地区別で見ると「通院」は松山地区で72.7%、唐子地区で71.4%と高くなっています。「買物」は大岡地区が60.0%、平野地区が45.5%と高くなっています。「公共施設を利用するため」は高坂丘陵地区が57.1%と高くなっています。

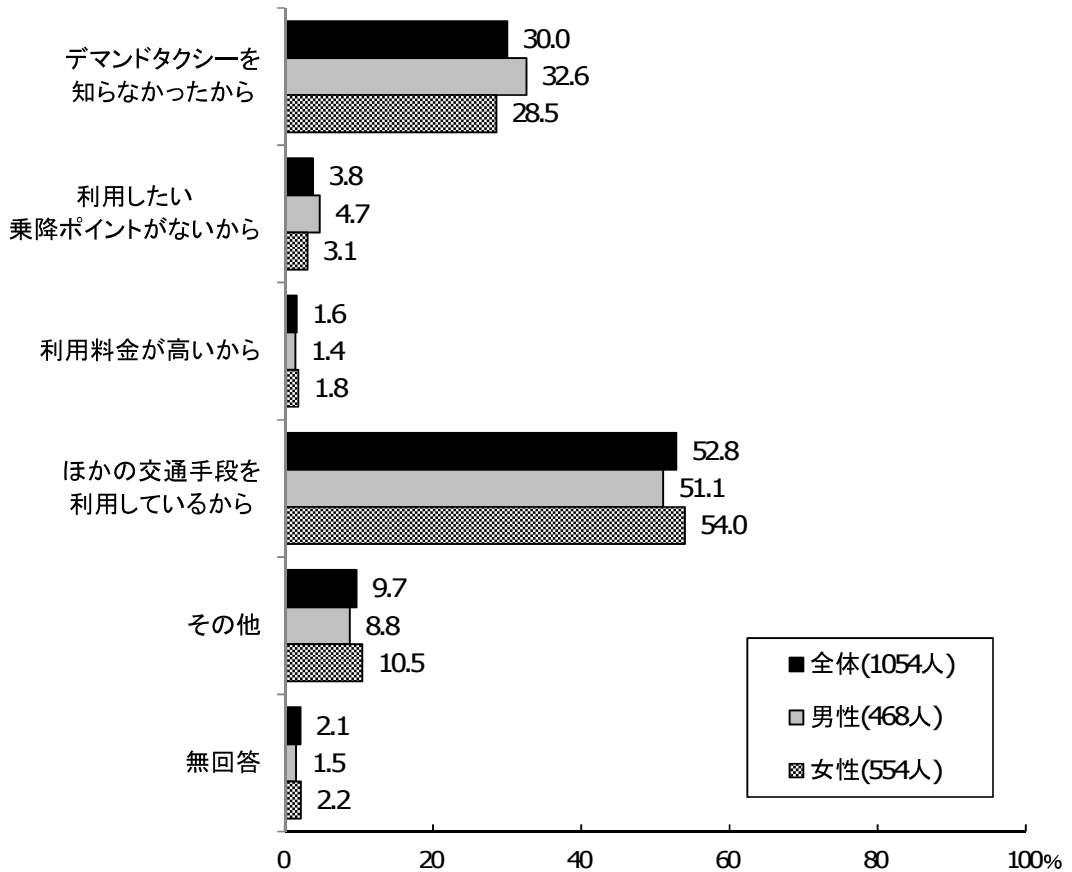


#### 4-9 デマンドタクシーを利用したことがない理由

◆「ほかの交通手段を利用しているから」52.8%◆

(問15で「利用したことがない」とお答えの方におたずねします)  
 問15-2 利用したことがないのはなぜですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

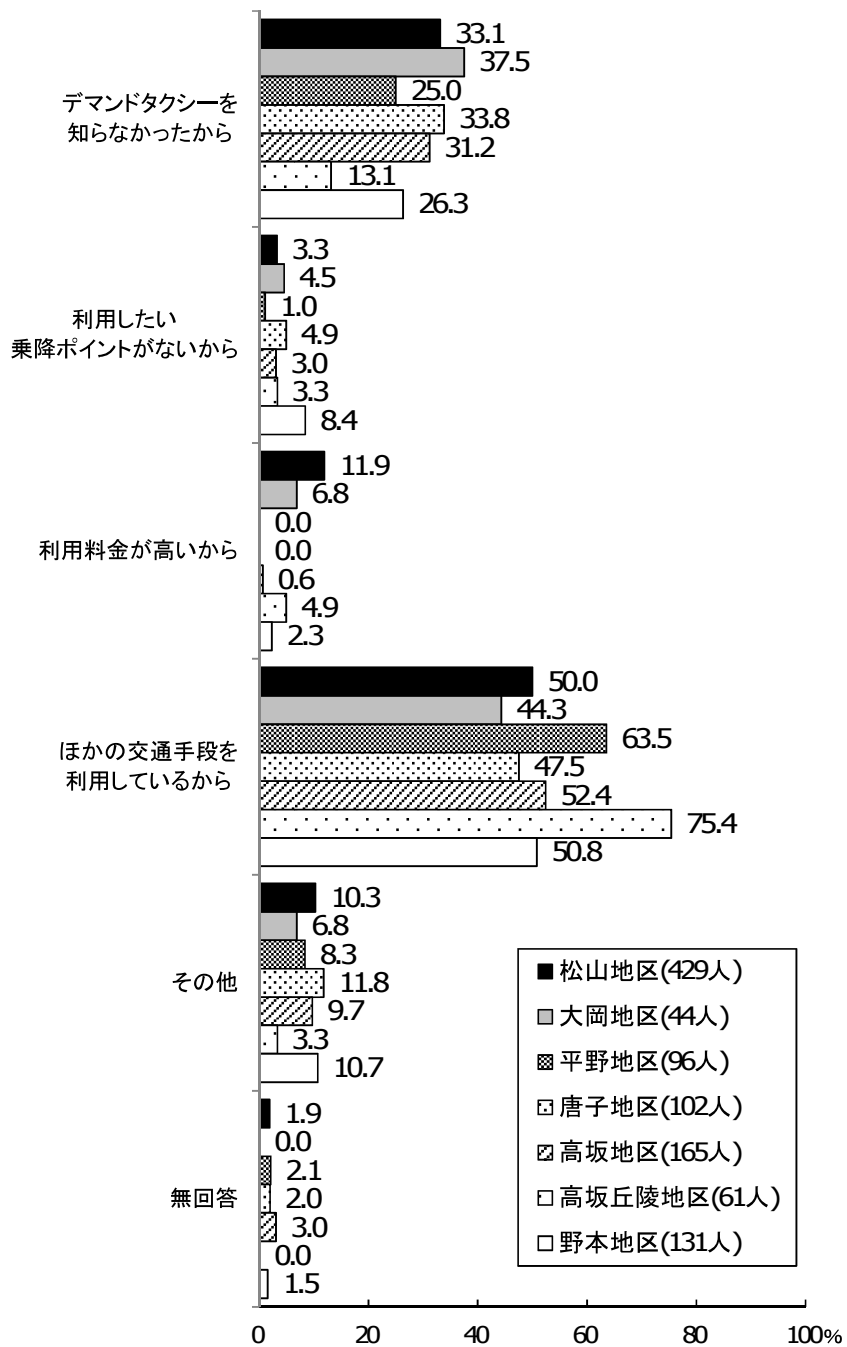
デマンドタクシーを利用したことがない理由(全体・性別)



全体では「ほかの交通手段を利用しているから」が52.8%と最も高く、次いで「デマンドタクシーを知らなかったから」が30.0%となっています。

性別で見ると「デマンドタクシーを知らなかったから」で男性(32.6%)が女性(28.5%)を4.1ポイント上回っています。

デマンドタクシーを利用したことがない理由（地区別）



地区別で見ると「ほかの交通手段を利用しているから」は高坂丘陵地区で7割、平野地区で6割を超えています。「デマンドタクシーを知らなかったから」は大岡地区が37.5%と最も高くなっています。